

平成 22 年 11 月 5 日  
日本政府代表団

## 気候変動枠組条約第 16 回締約国会議閣僚準備会合（概要）

### 1. 会合の概要

#### (1) 日程・場所

11 月 4～5 日 於：メキシコ・メキシコシティ

#### (2) 出席者等

参加国：約 60 の国及び地域（注：国名は末尾に記載）

議長：エスピノサ・メキシコ外務大臣

日本：近藤環境副大臣、南川環境省地球環境審議官、杉山外務省地球規模課題審議官、菅原経済産業省産業技術環境局長 他

#### (3) 会合の構成

COP16 の成果に関する全体会合の後、個別の課題ごとの分科会（緩和、京都議定書、資金・技術移転・能力開発、適応）が開催され意見交換が行われた。

### 2. 議論の概要

#### (1) 開会

エスピノサ・メキシコ外務大臣、エルビラ・メキシコ環境自然資源大臣、フィゲレス気候変動枠組条約事務局長から挨拶があった。

#### (2) COP16 の成果

アッシュ AWG-KP 議長、サンガウエ AWG-LCA 議長から、交渉状況について説明があった。多くの国から、COP16 ではバランスのとれた合意が必要であるとの意見が出された。先進国からは、途上国の緩和・MRV と支援関係のバランスが重要との主張が行われる一方、多くの途上国からは、LCA での議論の進展のためには京都議定書の第二約束期間の設定が必要であるとの主張がなされた。

我が国は、COP10 の成果に触れつつ、COP16 では、緩和、資金、技術移転、適応の分野でバランスのとれた合意を目指すべきであること、京都議定書の第二約束期間を設定し一部の国のみが厳しい削減目標を負うことは世界規模での削減につながらないため受け入れられず、すべての主要国が参加する公平かつ実効的な枠組みが必要であること等を主張し、また、地球温暖化対策基本法案を国会に提出していることを紹介した。

#### (3) 緩和（温室効果ガス排出削減）・京都議定書

先進国の緩和（京都議定書の第二約束期間、測定・報告・検証（MRV）等）、途上国の緩和（削減行動の登録、MRV、国際的な協議及び分析（ICA）等）について、議論が行われた。

すべての国が緩和の取組を行う必要があるべきという点については概ね意見の一致を

みたが、各国の緩和目標・行動の法的位置づけ、透明性を確保する具体的な方法については、さまざまな意見が示された。

すべての途上国が、京都議定書第二約束期間を設定すべしと強く主張した。また、一部の途上国からは、LCAでの合意は第二約束期間の設定が前提であるとの発言もあった。これに対し、先進国からは、すべての主要国が参加する包括的な枠組みの設定が不可欠との意見が述べられた。

我が国からは、第二約束期間の設定ではなく、コペンハーゲン合意を基にした全ての主要排出国が参加する新たな法的拘束力のある枠組みが必要であること、途上国の緩和行動及びその透明性の確保方法について議論の進展が必要であること等を繰り返し指摘した。

#### (4) 資金・技術移転・能力開発

資金（基金、資金源、透明性の確保方法等）技術移転、能力開発について議論が行われた。

資金については、新基金の必要性については概ね合意があったが、基金の設置のプロセスやガバナンスの仕組み、資金源については様々な考え方が示された。また、2012年までの早期資金について透明性を向上すべきとの意見も出された。技術については、技術メカニズムの必要性について合意があった。また、能力開発についても、その重要性が指摘された。

#### (5) 適応

気候変動への適応策を推進するための組織事項、損害賠償メカニズム等について議論が行われた。

適応策を推進するための枠組みが必要であることについて概ね合意がみられた。一方、新規の組織の必要性、具体的な損害賠償メカニズムの在り方については、さまざまな考え方が示された。

#### (6) その他

米国、中国、EU、英国、メキシコと二国間会談を行い、カンクンにおける合意などについて意見交換を行った。

#### (参考：参加国及び地域)

アラブ首長国連邦、アルジェリア、アルメニア、アルゼンチン、イエメン、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、英国、エクアドル、エジプト、欧州委員会、オランダ、カナダ、韓国、カーボベルデ、キューバ、グラナダ、クウェート、豪州、コスタリカ、コロンビア、コンゴ共和国、サウジアラビア、ジャマイカ、シンガポール、スウェーデン、スイス、スロベニア、スペイン、ツバル、デンマーク、チリ、中国、トルコ、ニカラグア、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、パプアニューギニア、バヌアツ、バングラディシュ、バルバドス、フランス、ブラジル、米国、ベネズエラ、ペルー、ベルギー、ベリーズ、ポーランド、ボリビア、南アフリカ、メキシコ、モルジブ、モロッコ、ロシア